

# 平成30年度

# 学校評価計画



## 徳島県立徳島北高等学校

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に格別の御支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の学校評価計画を作成しましたので御覧ください。これは、「学校経営の基本方針」及び「本年度の重点目標」に沿って各担当がそれぞれの分野において計画を立てたものの抜粋です。本年度も、この計画に従って全教職員が協働して教育活動に取り組んでまいります。また、年度末にはその取り組みについての評価を行い、結果については公表する予定です。

なお、評価の作成につきましては、アンケート調査などを通じて保護者の皆様の御意見をお聞かせいただこうと考えていますので、御協力くださいますようお願いいたします。

平成30年5月19日

徳島県立徳島北高等学校長

### - 「学校評価」とは -

各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、めざすべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ることをねらいとするものです。

### - 「学校経営の基本方針」 -

生徒がはつらつと活動する活力ある学校づくりと保護者・地域社会から信頼される学校づくりに取り組む、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を身に付けることができる教育の実現に努める。

### - 「本年度の重点目標」 -

- (1) 自ら学ぶ姿勢と自主的・自律的な行動力を育成する。
- (2) 人権を尊重する豊かな心を育成し、好ましい人間関係を築かせる。
- (3) 授業の工夫・改善と充実に努め、確かな学力を身に付けさせる。
- (4) 生徒一人一人の個性や創造性を伸長させて、進路希望の実現をめざす。
- (5) 国際的視野を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する。

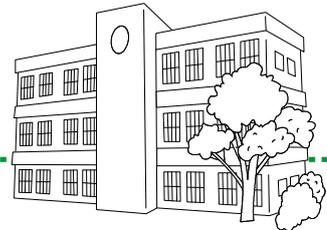
## 生活習慣・交通安全指導

- (目 標)** ① 生活習慣(服装頭髪の整正, 時間厳守, 挨拶の励行)の確立, 健全な生活態度の育成  
② 交通ルールの遵守, 交通安全意識の向上  
③ 携帯電話等の安全な使い方指導等, 情報モラルの育成
- (主な方策)** ① 月初めのクラス単位の服装頭髪点検, 学期初めの学年一斉指導を実施するとともに, 全職員による常時指導を徹底する。  
② 遅刻指導週間を実施するとともに, 多遅刻生徒への指導を徹底する。  
③ 職員による登校指導や生活委員会を中心とした「あいさつ運動」を充実させる。  
④ 生徒の交通事故の状況について職員・生徒・保護者の間で共通理解を図れるよう, 情報を提供する。  
⑤ 「人権教育ホームルーム活動」や「情報」の授業と連携した情報モラル教育を推進する。
- (数値目標)** ① 服装頭髪の再点検指導生徒の割合を0.5%以内(全体で5人以内)  
② 遅刻者数前年度比 10%減(68人減)  
③ 登校指導月1回, 「あいさつ運動」学期1回実施  
④ 交通事故件数 前年度(28件)の半減  
⑤ 各関係機関と連携し携帯電話安全教室を年1回以上実施



## 学力向上

- (目 標)** ① 主体的な学習習慣の確立  
② 確かな学力の育成
- (主な方策)** ① 進路説明会等で, 家庭学習の現状と重要性を保護者に理解してもらい, 協力を要請する。  
② 生活学習記録表や生活実態調査を通して現状の把握に努めるとともに, 保護者と連携しながら担任が面談を実施し, 原因の解明と改善を図る。  
③ 課題や確認テストを適宜実施し, 授業内容の理解, 定着を図る。  
④ 補習の重要性を理解させ, 担任, 学年主任と連携し補習の出席率を高める。
- (数値目標)** ① 家庭学習時間(塾等での学習を含む)1時間以上の生徒80%以上, 「(学年)+1」時間以上の生徒50%以上  
② 「午後9時までに家庭学習を始める」習慣が身につけている生徒70%以上  
③ 授業評価アンケートにおいて, 「学校の授業内容をよく理解している」生徒80%以上  
④ 1, 2年生の補習出席率95%以上



## 進路指導・キャリア教育

- (目 標)** ① 主体的な進路目標の設定・進路決定をめざしたキャリア教育の推進  
② 生徒の個性や創造力を伸ばさせることによる進路希望の実現  
③ 地域社会に貢献できる人材の育成に向けたキャリア教育の推進・自主的な行動力の育成
- (主な方策)** ① あらゆる機会を通じて, 将来の自分の生き方について考えさせるとともに, 体験的活動の広報に努め, 参加を奨励する。振り返りを行うための各種様式を整える。  
② 「若楠」や「進路ニュース」を活用し, 生徒や保護者への進路情報の提供を適切に行い進路意識の高揚を図る。  
③ 就職ガイダンスや公務員セミナーなどの実施を通して, 主体的に自ら考える力を育て, その実現に継続的に努力できる行動力を育成する。
- (数値目標)** ① 1, 2年次にオープンキャンパス等の体験的活動に1回以上参加した割合90%以上  
② 2年生の11月末進路希望調査で, 進路目標が明確になっていると回答した生徒の割合95%以上  
③ 就職希望者の就職未決定者数ゼロ(3年生2学期末)

## 心とからだの健康

- (目 標)** ① 自分の心やからだの健康について関心を持ち、課題解決に向けて実践できる生徒の育成  
② 生徒がはつらつとして充実した学校生活を送れるための支援の充実  
③ 公共物をマナーを守って利用できるなどの公共心の育成  
④ 福祉的な募金活動への協力
- (主な方策)** ① 生徒保健委員会の活動を推進し、保健意識の啓発・向上を図る。  
② 生徒に関する職員の共通理解に努め、生徒の支援をする。  
③ 公共心向上のための広報活動を推進するとともに、チェック体制を整える。  
④ 福祉的な募金活動を厚生委員の活動として計画し、厚生委員会活動の充実を図る。
- (数値目標)** ① 「自分の心や健康に関心を持ち、健康な生活を心がけている」生徒の割合85%以上  
② 「学校は生徒の安全や健康管理に十分注意している」及び「学校では健康や安全に配慮した指導が行われている」について「あてはまる」と答えた生徒・保護者ともに85%以上  
③ セミナーハウスなど施設利用について正しく利用できたと回答した生徒の割合を90%以上にする。  
④ 厚生委員会主催の大掃除を年2回実施  
⑤ 福祉的な募金活動に年2回以上協力



## 環境・防災教育

- (目 標)** ① 学校内外の環境美化及び環境問題に取り組む態度と実践力の育成  
② 防災教育を推進し、身辺に潜む危険から自らの身を守るのみならず、災害発生時及び事後に、進んで他の人々や地域の安全に役立てる人材の育成
- (主な方策)** ① 消灯・節水の徹底を呼びかける。校内及び学校周辺の清掃ボランティア活動を環境防災委員や部活動生徒が中心となり、活動を積極的に行う。  
② 学校行事やホームルーム活動の時間を利用し、様々な危険や災害に自主的に対応できるよう防災意識の向上を図る。
- (数値目標)** ① 校外で行われる環境美化及び環境問題に取り組むボランティア募集の参加を呼びかけ、その参加者を年間12名以上とする。また、年間3回以上「ゴミ0の日」を設定し、環境問題について考えさせる。  
② 地震・津波避難訓練、地震・火災対応避難訓練をそれぞれ年1回実施、校外で行われる防災関係の行事に参加する生徒を12名以上



## 国際理解教育

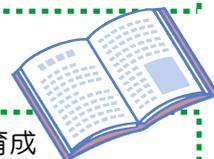
- (目 標)** ① 国際交流に積極的に取り組み、グローバルマインドを持った生徒の育成  
② 異文化の中で生活できる機会の提供  
③ 海外姉妹校との活発な交流
- (主な方策)** ① 外国人の外部講師等を招いて、グローバルな視点に立った考え方や発信の練習をする。  
② 海外からの訪問団を積極的に受け入れるとともに、海外派遣プログラムなどの情報提供に努める。  
③ Eメール等を用いて姉妹校とのグループ交流を実施する。
- (数値目標)** ① 異文化学習の機会を年2回以上提供  
② 海外語学研修参加者50名以上  
③ ニュージーランド・ドイツ・タイの姉妹校のなかでグループ交流を1回以上実施

## 人権教育

- (目 標) ① 日々の教育活動を通じた生徒の人権意識の高揚と啓発  
② 全職員でいじめ防止をはじめとする人権教育の充実  
③ 職員の人権研修機会の充実による人権意識の高揚と啓発
- (主な方策) ① 生徒が主体的に参加・体験できるホームルーム活動(人権)を実施する。  
② 教育活動全体を通じて、互いの人格を尊重し合える校内環境を整える。  
③ 研究授業を中心に学年別研修を行い、生徒にとって実りあるホームルーム活動にする。
- (数値目標) ① ホームルーム活動(人権)において、「人権意識が高まった」生徒の割合 80%以上  
② 「人権委員会だより」を読んでいる生徒の割合60%以上  
③ 「学校は好ましい人間関係の構築のため行事やHR活動・授業に真剣に取り組んでいる」と答えた生徒の割合90%以上

## 学校行事・生徒会活動・部活動

- (目 標) ① 学校行事(学校祭・球技大会等)の活性化を通じた自主的・自律的な行動力の育成  
② クラスや部活動だけでない幅広い人間関係の構築を図り、豊かな心を育成  
③ 部活動の活性化を通じた個性・創造性の伸長と、何事にも前向きに取り組む態度の育成  
④ 国際的な視野を広げ、社会に貢献する姿勢の育成
- (主な方策) ① 生徒会役員が中心となり、全校生徒が各行事の企画・運営に取り組めるようにする。  
② 学校行事の事前・事後にアンケートを実施し、今後の取組に生かす。  
③ 新入生対象の部活動紹介を充実させる。各部活動で自主的で積極的な活動ができるよう工夫する。  
④ 国際的視野の広がりにつながる講演会や社会貢献に通じる活動を計画する。
- (数値目標) ① 「学校行事に自主的・積極的に取り組むことができた」と答えた生徒の割合80%以上  
② 「生徒は望ましい人間関係が構築できている」と答えた職員・保護者の割合 80%以上  
③ 「部活動は学校生活を充実させるものとなっている」と答えた生徒の割合80%以上  
④ 地球市民講座(講演会)で「国際的視野を持つことができた」と答えた生徒の割合80%以上、地域や社会貢献に通じる活動を年3回計画



## 読書啓発

- (目 標) 図書館利用を通して、読書習慣の育成を図ることにより主体的に学ぶ態度の育成
- (主な方策) ① 様々なジャンルの図書を充実させ、「図書館だより」や館内館外展示で広報する。  
② 各教科と連携して授業に活用したい本や生徒に読ませたい本を充実させ、図書館利用の推進を図る。  
③ 図書館の利用状況、貸出状況を「図書館だより」等で適宜知らせる。
- (数値目標) ① 1人あたりの年間利用回数を、8.0回  
② 授業での利用を50回  
③ 各教科や総合的な学習の時間での利用を推進する働きかけを学期に1回以上

### 「学校評価」今後の予定

5月19日(土)	PTA 総会で、今年度の評価計画を説明
5月下旬	ホームルーム活動で、生徒に今年度の評価計画を説明
6月下旬～7月上旬	第1回授業評価アンケート
12月上旬	第2回授業評価アンケート・学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員)
1月下旬～2月上旬	学校評価結果作成
2月下旬	学校評価結果公表(リーフレット・ホームページ)



徳島北高校  
イメージキャラクター  
はっぱちゃん

このリーフレットに対するお問合せ

徳島北高等学校 学校評価委員会

〒771-1153 徳島市応神町吉成字中ノ瀬40-6 電話 088-698-8004